

TOKYO働き方改革宣言

より時代に合った変化への対応および働き方への改革を行い、社員みんなが生き生きと働ける環境を創設する

平成30年2月9日

ジェイ・ディ・エイ・ソフトウェア・ジャパン株式会社

目標

働き方の改善

- 1.2017年度11月までに全社員の1人当たり時間外労働時間が平均45時間を下回るようにする。
- 2.長時間労働のさらなる削減のため2017年度12月以降、全社員の1人当たりの時間外労働が平均

休み方の改善

年次有給休暇の取得促進を全社員に呼びかけ、取得率を50%以上とする。

取組内容

働き方の改善

- 1.管理者が月1回必ず社員の時間外労働の状況を把握する。
- 2.管理者が社員との個別会議を適宜設け、時間外労働等の問題点を的確に把握するとともに、個人単位の時間外労働縮減アクションプランを策定し、実行する。
- 3.フレックスタイム制度を導入し時間外労働が発生しない

休み方の改善

- 1.社員の年次有給休暇取得状況を管理者が情報共有する。
- 2.管理者による年次有給休暇取得についての恒常的な声掛けの実施
- 3.祝日が週の中日にある場合等は、連続した休みとなるよう年次有給休暇取得を呼びかける。